



ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2016年(平成28年)1月25日号 No.1683

目次

■ 2015年のロシア乗用車販売動向	1
■ 『ロシアNIS調査月報』2016年2月号のご紹介	5
■ モスクワほっとニュース	6
冬のバーゲンシーズン到来！／6	
■ トピックス	7
JALがモスクワ線を増便／7	
北海道飲食大手の伸和HD、ロシア極東進出へ／7	

2015年のロシア乗用車販売動向

はじめに

『経済速報』では、欧州ビジネス協会(AEB)が毎月発表しているロシアの乗用車販売データを、抜粋のうえ「統計速報」のコーナーで定期的に紹介している。AEBは1月14日、2015年通年のロシアの乗用車販売データを発表したので、今回の速報ではいつもよりも図表を拡充して、AEB発表のロシア乗用車販売データをご紹介します。なお、当会では後日、『ロシアNIS調査月報』2016年4月号(3月20日発行)において、より詳しい解説記事を掲載する予定である。

AEBの発表によれば、ロシアにおける乗用車(新車に限り、小型商用車を含む)の販売台数は、図表1のように推移している。2015年の販売台数は160万台で、前年比35.7%減少した。2012年に過去最大の294万台を記録した後、減少傾向が続き、2015年は、2012年比で45.5%の減少となった。

図表2は月別の販売動向を示したものである。2015年は総じて、販売台数は伸びず、2014年11～12月に見られたような、ルーブル下落などを背景とした、駆け込み需要の高まりなどもなかった。

ブランド別の販売台数を図表3に、主要モデルの販売台数を図表4にまとめた。一部車種を除くとほとんどのブランド、モデルで前年を大きく下回る販売台数を記録しており、2015年が多く自動車関連メーカーにとって厳しい一年であったことが分かる。